

【所属名：文化振興課】

【会議名： 第2回糸魚川市文化財保護審議会】

会 議 録

作成日 平成 31 年 4 月 31 日

日	平成 31 年 3 月 8 日	時間	13:30 ~ 15:00	場所	図書館 3 階視聴覚室
件名	報告(1) 県指定記念物（天然記念物）杉之当の大スギとシナノキについて（公開） 報告(2) 国指定有形文化財（建造物）伊藤家住宅について（公開） 報告(3) 国指定記念物（史跡）長者ヶ原遺跡について（公開） 報告(4) 国指定有形文化財（建造物）白山神社本殿について（公開） 国指定民俗文化財（有形民俗）能生白山神社の海上信仰資料について（公開） 国指定記念物（天然記念物）能生白山神社の社叢について（公開） 報告 その他（公開） 議題(1) 内川屋文書について（公開） 議題(2) その他（公開） その他（公開）				
出席者	【出席者】 7人 吉田会長、井伊副会長、五十嵐委員、小掠委員、佐藤委員、室川委員、池亀委員 【欠席者】 3人 野紫木委員、小川委員、吉倉委員 【事務局】 5人 井川教育長 文化振興課 磯野課長、山岸学芸専門員、小池主事、長谷川主査				
	傍聴者定員		- 人	傍聴者数	- 人

会議要旨

1 開会（13:30） 【事務局】 井川教育長あいさつ
2 報告 報告(1) 県指定記念物（天然記念物）杉之当の大スギとシナノキについて 【事務局】 長谷川主査 資料1により大スギのき損状況について説明。 【吉田会長】 シナノキの被害はなかったか。 【事務局】 長谷川主査 シナノキへの被害はなかった。 【吉田会長】 資料1の最終行にあるとおり県の対応を待ちましょう。 報告(2) 国指定有形文化財（建造物）伊藤家住宅について 【事務局】 長谷川主査 資料2により12月25日付けで重文指定が完了したことを説明。

【事務局】磯野課長 前回視察ができなかった伊藤家について新年度に入って視察を実施したい。

【五十嵐委員】所有者の伊藤まりさんが亡くなられたが、所有者の変更の届けはどうするのか。

【事務局】長谷川主査 手続きについて県を経由して文化庁に確認中。

報告(3) 国指定記念物（史跡）長者ヶ原遺跡について

【事務局】小池主事 資料3によりイノシシによる被害について説明。

- ・松の木の根本を40～50 cm程度掘り起していること
- ・40箇所くらい被害に遭っており、未調査の17号・18号住居跡では遺物の一部が見えている状態であること
- ・き損届けが提出済みであること
- ・現地では土嚢を積み保護していること
- ・県内の他の遺跡でも事例がなく、他県の実例を確認して対応していく予定であること

【吉田会長】高速道路側の被害が大きい。

【事務局】磯野課長 環境生活課では個体調査数等の予算も計上している。

【吉田会長】県と連携して対応してほしい。

【井伊副会長】捕獲数はどのくらいか。

【池亀委員】昨年度は800頭だと聞いている。今年度はまだ分からない。

【吉田会長】一昨年（自分が県の文化財パトロールをしていた頃）も遺跡で広範囲な被害があったがこれほど酷くはなかった。県とも連携して対応してほしい。

【事務局】井川教育長 青海地域でも被害を確認している。猟友会で捕獲数も把握している。

【吉田会長】他の対応策はないのか。

【事務局】小池主事 遺跡範囲は広く、斜面もあるので電気柵は難しいかと。オオカミのおしっこがイノシシよけに効果があると聞いている。

【吉田会長】何か目撃情報はありますか。

【事務局】小池主事 安心メールで配信される場合もあるが、夜行性であり、遺跡の範囲が広いので確認できていない。

【事務局】井川教育長 イノシシは相当な数の集団で動いるかと思われる。

【吉田会長】青海川ヒスイ峡でも右岸で被害があった。

【事務局】井川教育長 他の対策も別途検討していきたい。

報告(4) 国指定有形文化財（建造物）白山神社本殿について（公開）

国指定民俗文化財（有形民俗）能生白山神社の海上信仰資料について（公開）

国指定記念物（天然記念物）能生白山神社の社叢について（公開）

【事務局】長谷川主査 資料4・5・6により、平成31年度に能生白山神社が実施する修繕事業の内容とそれに関連する現状変更申請の内容について説明。

<白山神社本殿の修繕について>

【五十嵐委員】昭和61年頃に修繕しており、30年ごとの定期的なもの。文建協からは、屋根の上の落ち葉をこまめに清掃するよう言われているが、通常、屋根の上に人が上がることができない。地面は掃き掃除しているが、資料4の写真によるとご神体を入れる扉が海側にあり、塩害で錆が確認できる。

【吉田会長】平成29年度の第2回審議会で報告があったが、1～3月頃の強風で屋根が破損した部分を予定どおり修繕するということですね。補助率は？

【事務局】長谷川主査 国が80%、県が4%、残りを市と所有者で8%ずつ負担する予定。

【五十嵐委員】本殿のご神体の移動等、今後どのようにして修繕工事を行うか検討中。

【小椋委員】本殿の屋根等を元の姿に修繕するということですね。

【吉田会長】職人が減ってきている。材料の調達など費用もかかる。

<能生白山神社の海上信仰資料の修復について>

【事務局】長谷川主査 前年度秋にカビの被害を疑い、専門業者3者から見積を徴収、3月になってカビ被害ではないことが判明して、事業内容が決定した。

【吉田会長】事業費と負担率はいくらか。

【事務局】長谷川主査 事業費は約250万円、国が50%、県が10%、残りを市と所有者で20%ずつ負担する予定。

【五十嵐委員】宝物殿内の環境整備等うまくいってくればいいと願っている。

<能生白山神社の社叢の現状変更申請について>

【吉田会長】白山神社本殿の修繕事業に関連して社叢の木を伐木するということですね。

【池亀委員】原因となっている木を伐採することはできないか。

【事務局】長谷川主査 修繕事業の設計監理者である文建協に相談したところ、風向き等でも変わり、社叢以外から飛んでくる場合もあるので断定するのは難しいとの回答を得た。

報告 その他

特になし。

3 議題

議題(1) 内川屋文書について

【吉田会長】資料7により、文書の内容やいきさつ、価値等について説明。

【井伊副会長】富山市が所有者に文書を譲ってほしいと依頼してきたそうだが、所有者は地元に残すことを決めたと言っていた。何らかの方法で活用していければいいと思う。

【吉田会長】昨年6月に所有者が富山市へ文書の内容の事実確認の手紙を出したところ、譲ってほしいと言われたため、所有者と同級生の蛭子先生に相談したところ、市に相談するよう進められ、文化振興課へ連絡がいった。

【事務局】磯野課長 蛭子先生にお会いした時にも、とても気にされていた。指定に向けた動きを進めていきたいと思う。

【吉田会長】前回の審議会で、市内には他にも貴重な文書がたくさんあるので、指定の際にはバランスを考慮する必要があるのではないかと…と言ったが、人手もお金もかけて整理作業と目録作成を行わないと指定することはできない。大量にある場合は寄贈・寄託を受けるにしても大変な作業が必要になる。内川屋文書については、背景も明確で、貴重なものなのでケースバイケースで対応を考えたほうがよいと思う。

【小椋委員】市の指定と併せて、市に寄贈したいということも分かっているので、そのとおりでよいと思う。

【池亀委員】文書の価値がはっきりしているのでよいと思う。

【五十嵐委員、室川委員、佐藤委員】同意。

【吉田会長】展示についてどうか。

【事務局】長谷川主査 糸魚川歴史民俗資料館等でしょうか。

【事務局】磯野課長 画廊きららで展示する方法もあるのではないかと。別の施設でも活用

させていただければと考えている。

【吉田会長】青海地域の廻船業の資料はあるが、糸魚川町は火事が多く資料が残っていない。鬼舞の伊藤家にも大量の資料がある。次回の審議会の際に視察が可能ならぜひ見てみたい。

【五十嵐委員】船絵馬を奉納したのはどこの神社か。

【事務局】長谷川主査 西海地区の来海沢集落の「ひえ神社」と聞いている。

【吉田会長】材木の取引があったためとのこと。内川屋文書の指定審議については新年度に入っ
て行うということによろしいでしょうか。

【出席者】異議なし。

議題(2) その他

特になし

4 その他

・平成30年度春の文化講演会の開催について チラシ配布

5 閉会 (15:00)

【井伊副会長】内川屋文書の審議については新年度よろしくお願いします。

委員の皆さんありがとうございました。